

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入居者様の急な行動に「座ってください」「立たないでください」等、つい言ってしまう職員がいる。	スピーチロックを含む身体拘束をゼロにする。	入居者様がどうしたいのか、何をしたいのかを尋ね、理解できるような職員の育成に取り組み。職員がストレスを溜めないような環境づくりを行う。	6ヶ月
2	12	派遣職員が多く在籍し、退職希望の職員もいる。	職員の定着・安定を目指す。	法人へ現在の状況を繰り返し訴え、理解してもらい職員の増員をお願いする。	12ヶ月
3	35	避難訓練等を行ってはいるが、どうしても日勤帯で行うため、夜勤専従職員への訓練が行えていない。	夜勤専従職員を含め、職員全員が非常時戸惑うことなく対応できる。	避難訓練時専従職員にも参加を促し、参加不可能な職員には、防火管理者が責任をもって訓練を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。